

## JR 東海、リニア新幹線の環境影響評価書を提出

JR 東海は23日、リニア環境影響評価書を国土交通省へ提出した。この評価書は、昨年9月に公表した環境影響評価準備書に対するリニア沿線各県知事意見や沿線住民からの意見を踏まえたもの。今後国交省は、環境省と連携して評価書を審査し、90日以内にJR 東海に意見を出す。JR 東海は、国交省の意見を受け補正して、工事実施計画を夏にも認可申請し、今秋着工をめざす。

◆「リニア中央新幹線の環境影響評価書(神奈川県)」ほか、JR 東海ホームページから入手できます。  
<http://company.jr-central.co.jp/company/others/assessment/document/kanagawa/index.html>

### 朝日新聞記事から一部紹介(4/24付)

#### ● JR 東海 修正1カ月、沿線「拙速」(1面)

昨年9月の「準備書」は先月、沿線7都県から「調査が不十分」などと指摘されていた。わずか1カ月での修正に「求めていたようになっていない」(阿部守一・長野県知事)、「意見を反映する気があるのか」(東京都の担当課長)など、「拙速」とする批判が相次いだ。

#### ● 「公表一方的」と批判 リニア環境調査 自治体に不信(3面)

◇「後ろ向きなスタンスは変わらない」と話すのは、神奈川県環境影響評価審査会の委員。相模原市緑区の鳥屋地区に、関東で唯一の車両基地の建設が予定される。排水の量や質、処理方法などで詳しい説明を求めてきたが、「準備書の審査会で提出された、追加データを盛り込んだだけ」。

◇準備書に対する3月の「知事意見」が100項目に上った東京都。都環境局の宇山竜二・アセスメント担当課長は「通常ならば、意見を反映させて評価書を仕上げるまでに数カ月かかる。それが今回は1カ月足らずで、一方的に公表された。意見を最大限、意見書に反映する気があったのか」と不信感を示した。

#### ● リニア評価書 残土は 具体策なお示されず(29面 さがみ野)

昨秋からの県の環境影響評価審査会で大きな議論となったのは、トンネルなどを掘った際に出る残土をどう処理するかだ。県内だけでも東京ドーム9.2杯分(1140万立方メートル)もの残土が出るとされている。評価書では、残土置き場をつくらなければいけなくなった際、周辺の環境に与える影響を調べる手法を新たに記載。ただ、「残土の3割は車両基地の盛り土にする」という以外は具体的な処理方法は評価書でも示めされなかった。



**リニアカフェ** 無料

**5月24日(土)**  
午後2時~4時30分  
場所: 橋本公民館小会議室  
(橋本駅北口 イオン6F)

リニア駅建設で  
橋本のまち、  
住民の生活環境は  
どう変わる?

お茶とお菓子でなごやかに!  
ご都合のつく時間にどうぞ。  
お待ちしております!

主催：リニア新幹線を考える相模原連絡会  
共催：教育と緑ある橋本の町づくりを考える会 連絡先：桜井 042-773-7064

# リニア建設で湧き水に影響ができれば死活問題に

## 久保田酒造さん訪問記

串川のほとり、根小屋で 100 年以上にわたり酒造りをつづけられている久保田酒造さんを、4 月 9 日に 6 人で訪問しました。酒造りが一段落したとはいえ、まだまだお忙しい中、社長さんが 2 時間も対応していただき、貴重なお話を聞くことができました。

### 裏手にある山から湧き水

久保田酒造さんは「相模灘」という銘柄のお酒をつくられています。前に蛍の舞う串川、裏手が湧き水を取水する山、敷地にニリンソウが咲き、ゆたかな環境で酒造りをされていました。



### 水の確保にたいへんな思い

酒造りには大量の水が必要で、リニア建設で湧き水に影響ができれば死活問題になるため大変心配されていました。実は宮ヶ瀬ダム・津久井導水路建設にあたり、裏山の水源が危ないと、神奈川県が久保田酒造さんの敷地から 1 キロ離れた場所にくみ上げ井戸を準備したそうです。それ以来そちらの井戸をメインの水源にされていましたが、今度は津久井広域道路建設で、橋脚部にあたる井戸は使えなくなり、再び裏山の水源を使用されています。



裏山が水源

### リニア建設で水源がどうなるか不安

津久井広域道路建設の時は、5 年位前から県による裏山の井戸の観測がはじまり、水質を毎月検査するなど、県や市の対応はしっかりしたもので安心だったそうです。裏山に水源を移してから 1 年位後まで流量計もつけてくれ、水源が大丈夫かどうか調べてくれたとのこと。しかしリニアは一民間企業が行うため、どこまで補償してくれるか不安を訴えられていました。

### 伝統的な酒造りを応援したい

政令指定都市になる時、相模原市から記念のお酒造りを依頼された久保田酒造さんは、まさに「潤水都市相模原」を象徴するお店です。「和食」がユネスコ無形文化遺産になり、お料理と一緒にいただくお酒も欠くことができません。伝統的な方法で酒造りをされる方が減っている中、30 代半ばの若い社長さんががんばっていますので応援したいです。日本の伝統技術を何とか途切れることなく守っていきたく強く思いました。

(記：河村妙子)



300 キロものお米を蒸す釜



お願い

★ 活動は市民の募金で維持しています、ぜひご協力をお願いします。

郵便振替口座:00240-7-71305 口座名:リニア新幹線を考える相模原連絡会

発行者： 浅賀きみ江 相模原市緑区東橋本 2-6-2 (TEL:090-4378-9257)  
編集責任：中野渡 旬 相模原市緑区東橋本 3-19-8-309 (TEL, FAX:042-712-7077, mail:MHA01005@nifty.com)